

軍極秘

十五空戦密第三二五ノ四

七月十八日南昌空襲戦闘詳報



第十五航空隊

49

0021

一 形勢

(一) 七月十六日漢口、七月十七日南昌空襲。於テ敵飛行機ハ多大損
害ヲ被リ多ト雖モ南昌ニ尚二十數機殘存集結シテ作戰ニ對シ
防禦ヲ加ヘントス

(二) 我ガ作戰ハ漸次進捗シ速ニ敵航空兵力撃滅ノ要アリ

(三) 作戰獅子山方面ノ敵陣地爆撃ハ連續實施中ナリ

(四) 敵CB型爆撃機ハ向我後方攪亂ノ企圖シ十七日モ九ノ三機高
度ハナキヲ輸送船因(彭沢湖口間)上空ニ來襲味方戦闘機

追躰遁走セシム

二 計画

機密第九四九番電 十七日

第一空襲部隊電令作第一二號

於南京第一空襲部隊指揮官塚原三四三
明十八日ニ基地艦上攻撃機、艦上爆撃機ノ大部分及艦上戦闘機六
機(掩護)ヲ以テ早朝南昌空襲ヲ決行スベシ

(一) 攻撃計画
(二) 指揮官

松本少佐

0022

別表

飛行機隊編制

少 真 本 松 海															指揮官						
隊中一爆艇					隊小機		隊機斗戰								中隊長						
大尉 龜 義行							大尉 南郷茂章								中隊長						
33		32		31		30		2		1					小隊長						
一空 龜 義行		中尉 江川康平		大尉 龜 義行		小隊 松本真実		一空 半田亘理		大尉 南郷茂章					小隊長						
10-240	10-239	10-238	10-237	10-236	10-235	10-234	10-233	10-232	3-184	3-163	10-116	10-114	10-113	10-112	機						
大尉 井上文刀	三空 中野義剛	一空 福永松夫	三空 渡上勝男	一空 島田一之	三空 今村実雄	大尉 龜 義行	二空 小野了	少 松本真実	三空 松本義晴	二空 日高初男	一空 半田亘理	一空 岸義郎	一空 東山市郎	大尉 南郷茂章	操縦員						
一空 野口義巳	一空 芥川身	三空 高野辰藏	一空 宮里光夫	中尉 江川康平	三空 本村昌高	一空 龜 義行	一空 山地徳良	一空 吉田清治							偵察員						
															電信員						
															記事						

0024

佐 實									
艦攻機隊					艦爆二隊				
大尉 渡邊初彦					大尉 井上文刀				
53		51			42		51		
田中 公克 中尉		大尉 渡邊初彦			小川 正一 中尉		大尉 井上文刀		
10- 256	10- 253	10- 252	10- 251	10- 250	10- 249	10- 248	10- 247	10- 246	10- 245
一 小川 林月英	三 田中 公克	三 藤 春二	三 中 尾 保藏	一 浅川 三雄	三 赤星 正幸	三 井下 辰吉	中 小川 正一	一 前田 富雄	二 德永 有
一 伊藤 心友	三 田中 公克	一 藤 春二	一 中 尾 保藏	大 渡邊 初彦	一 西原 章	一 真崎 一義	二 桑島 勝	一 吉田 高	一 別宮 利克
二 渡合 唯一	三 秋吉 清人	二 藤 春二	三 中 尾 保藏	一 赤星 正幸					

2.

0025

一、經過

一、戰鬥經過

○六〇〇戰鬥機一機（指揮官南郷大尉）も基地發進

（内一機集合索不湖口上空より攻撃機隊ト行動ヲ失ス）攻撃隊ト集
合索不五機ニテ湖口上空ヲ經南昌ニ向フ

○六五五空戰開始

味方高度五〇〇米

敵一五〇米附近ニ一機 新飛行場より離陸直後、飛行機數

機計約一五機ト高度一五〇米附近ニ空戰、南郷大尉ハ

撃墜セシ敵機ト衝突、空中介錯、為戦死ス、其他、四機ハ

勇戦奮斗敵機ヲ撃墜シ、七五戰場離脱、八一〇も基地

着

（四）攻撃機隊

○五四五指揮官松本少佐 艦爆二四（龜大尉、半上大尉）艦攻五（渡辺

大尉）も基地發進

○六三〇湖口上空ヲ戰斗機隊ヲ待合シタレド、合同兵一機も集り、其、依

南昌ニ向フ、高度三〇〇米

0026

第一 機	機 数	空 戦 経 過	機 数	敵 損 害
第一機	一機	高度五五〇米附近敵機一機又新飛行場ヲ離陸		

(一) 空中戦経過

〇七二〇 攻撃機隊八旧飛行場爆撃、戦機一機ト共ニ戦場ヲ離脱
 〇八二五 全機ニ基地着
 〇七二五 爆撃機隊 新飛行場爆撃
 〇七三五 飛行場ニ敵重爆及戦機ニ對シ殆ト全機ヲ以
 テ銃撃ヲ行フト共ニ四機ハ飛行場ニ着陸ヲ決行シ銃撃及ミテ
 三地上ニ飛行情機焼却敵機裝備ノ旋回機銃弾倉ヲ鹵獲シ
 八〇五迄ニ戦場ヲ離脱。九一〇、一二 機ニ基地着
 銃撃前若干時間機銃射撃ヲ受ケルモ其ノ後射撃ヲ受ケズ銃
 撃中 N6 型戦機一機 戦ニ挑戦シ来リシヲ追撃シヒモ及バズハ
 爆撃道前逃走中、G 型戦機六機ヲ発見シニ進撃シ交戦
 一番機行方不明トナルニ番機ハ G 戦四機ト交戦シ一機ヲ撃墜シ
 戦場離脱時地上砲火ヲ燃料系統毀損。八二〇 金宝山嶺南
 方劉氏橋湖北部ニ不時着水。一〇三〇 集ニ收助サレ人員無
 事機体沈没

0027

第一隊 三番機 空一隊	第一隊 二番機 空一隊 山東 郎	大村南郷次郎
N16X1 N16X3	N15X5 N16X1	N15X1
○五五五空戦開始(○五五五一番機 N16ト衝突セルヲ認ム) 高度差ナリシヲ以テ余力上昇ヲ利用シ機位ナル敵ヨリ反復攻 撃入ルニ○五五五二番機内迫射撃ヲス、敵ハ黒煙ヲ吐キ、墜落 セルヲ認ム、其ノ時下方ヨリ射撃ヲ来レル N16X2 N16X1ヲ認メ直ニ 上昇三機ト交戦ス、急反転ヲ進グル N16ヲ約六〇度ノ後	○五五五一番機ト共ニ N15ニ対シ同時反撃ヲ行ヒ黒煙ヲ吐キ 名取ヲ引上げ他ノ二機(機位不明)ト交戦内ニ機ハ猛烈ナル自煙 ヲ吐キ、墜落セルヲ(位置不明)○五五五二番機 N16X2 N16X1ト 交戦ニ番機ハ射撃ヲ黒煙ヲ吐キ、逃走スル一機(N16X1)ト 追撃一之ヲ新飛行場 也南方ニ○○東ノ地点ニ墜 落セル○五五五三番機影ヲ認メズ上空待機(約三分)後 基地ニ向テ返投ス	直後、数機ノ発見突撃下令高度一〇〇〇米附近、敵 N15ニ対シ急降下シテ攻撃ヲ開始シ敵点煙ヲ吐クモ高 速尾迫射撃ヲナレ敵機速力減シ機首ヲ上げ正 ニ機位セントセル時之ヲ避退スルヲ違テ先制射撃 突、空中分解ヲシ戦死ス、時ニ○五五五三番機(列機位) 南郷機ハ大型増槽ヲ抱ヘ急降攻撃ヲシツアルヲ認ム)
200 発	600 発	
撃墜三機 N16X1 位置不明 N16X2 三番機ト 協同射撃 撃	撃墜三機 N16X1 位置不明 N16X2 三番機ト 協同射撃 撃	N15X1 撃墜機

0028

高日空軍二機番一	理日半空軍一機番一	部次新岸軍表
N4x6 N1x2	N15x12 N16x3	
一香機ニ續キ後上方ヨリ敵機ニ對シ攻撃ヲ加ヘヨリ 三敵機目撃、黒煙ヲ吐キ、フラス、状態ニテ降下スルヲ認メタル ニ敵機、攻撃ヲ受ケ、爲最後迄是處クルヲ得ズ、攻撃ヲ シテ、追、跟射撃ニシテ、白煙ヲ吐キ、南方河原ニ墜、突 スルヲ認、此ノ際後方ニ敵機ヲ機数機追跟上來リタル 我余力上昇ヲ以テ引上ケ、之ト交戦ス、ヤカラ一香機來リ	南昌新飛行場南方五哩味方ノ方度五〇〇米ニテ敵機 機一五〇〇米ニアルヲ見、後上方ヨリ敵機後方機ヲ射撃 先自煙、右黒煙ヲ吐キ、降下、撃墜（不確実）セリ、敵 南散シ、我ニ及ビ、撃テ、来リ、我余力上昇ヲ利用シ、上 ニ占位、十数機ヲ加フ其ノ間、N16x3ニ認、メ、其ノ内敵機 次第ニ成、メ、最後、一機ニ徹底的追跟ヲ行ヒ、二撃 後、火、焰ヲ吐キ、南昌、一八〇度、二〇〇米、田ノ中ニ墜、 セリ、敵機ハ、攻撃ヲ、二、三、撃、墜、シ、タル、異、状、ナレ	上方ヨリ射撃、敵ハ、黒煙ヲ吐キ、降下ス（続キ、二香機同機 ヲ射撃、々々、）此ノ時下方ニ、黒煙ヲ吐キ、降下スル機ヲ 見、多、〇、七、五、敵機ヲ認、メ、上、空、旋、回、後、三、香、機、ト 合同、二、機、ヲ、取、扱、ス
260発	400発	
（四一機） 不確実	N15x2 不確実	不確実

0029

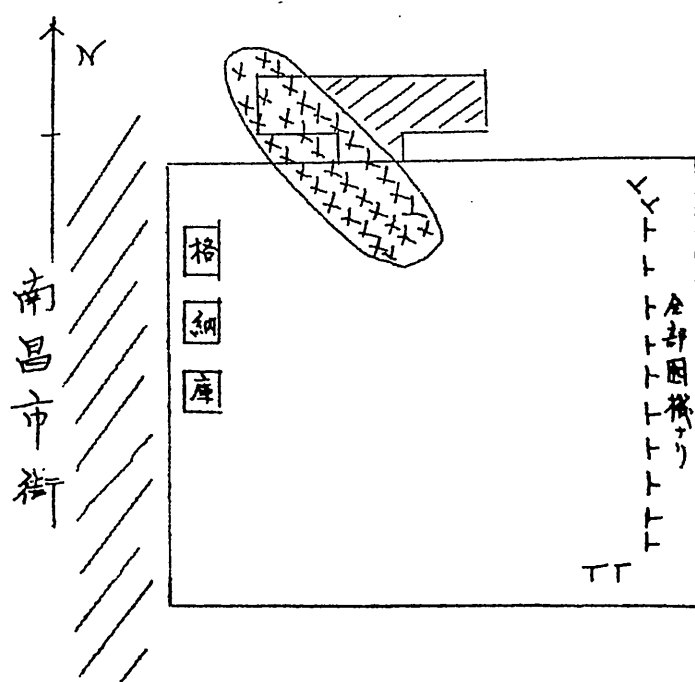
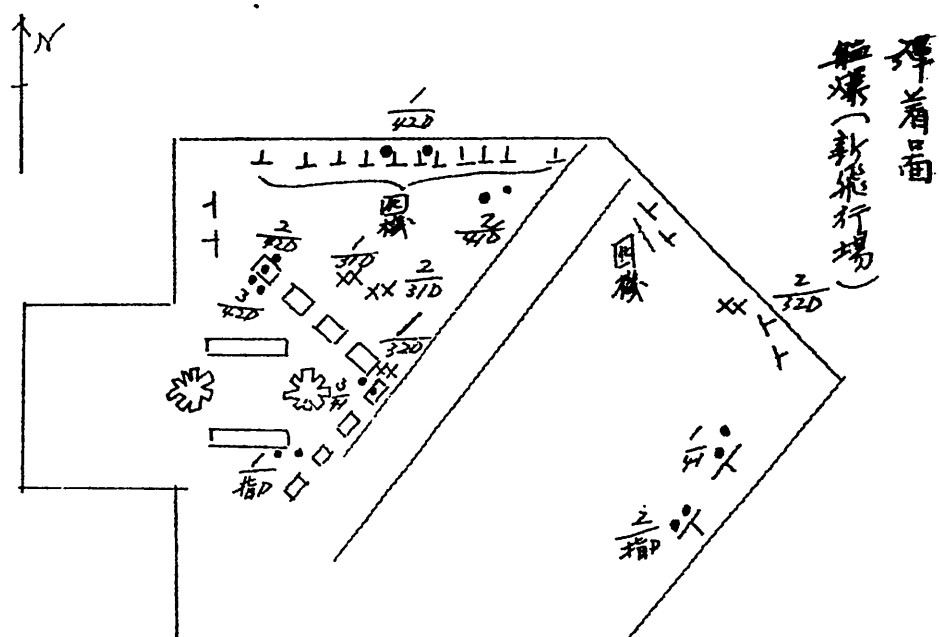
剛 英中 電空二(機)隊小五十三第 塲 川本 空一(機)隊番二	大 根永 補電空二(機)隊小五十三第 藏 展野 高電空一(機)隊番一	男 初
G×K	G×Z	
一番機ニ就テ、敵機ヲ機群ニ突入中敵機ニ 官圍サレ爆彈投下之ト交戦ス 空戦ハ無直旋回ノミ突進シ防戦ス、高度 三〇〇米トナリタル時ソレ迄交互ニ射撃ヲ来リシ一機 左翼ヲ失スレシテ緩慢ヲ度ラ突進セルヲ旋回銃ミテ 撃墜ス次ガ高度ヲトミントシタルニ敵機銃弾ヲ打盡シテ ルモノカウ避退ス、戦場離脱時地上砲火ニ依リ燃料系統毀 損。八三。金堂嶺南方劉氏橋湖北部ニ不時着水一。三。機一 取即サレ機体沈没セシモ人員無事	〇七二〇爆撃機直前G×Zノ逃走(高度一五〇〇米)ス ヲ発見 四〇〇〇米ヨリ之ニ突入シタル終行方不明	之ト協力交戦スル内敵機次第ニ逃走シ低空ニ見張 ルモ敵機ヲ認めズ、イ基地ニ返投ス
G×/ 撃墜三機		

0030

(五) 爆撃經過
 (六) 艦攻
 目標 爆撃時刻 進入方向 爆撃高度 爆撃法 着
 (別番)
 目標 爆撃時刻 進入方向 爆撃高度 爆撃法 着

旧飛行場
 〇七二〇
 一三〇度
 二四〇〇米
 飛機編隊水平爆撃
 飛行場北部 = 六〇度 一四彈
 場外建物附近 = 六〇度 一六彈
 新飛行場
 自〇七一五 至 〇七二〇
 〇度 一八〇度
 四二〇 四〇〇 三二〇 順
 四二〇 四〇〇 三二〇 順
 米 達急降下

0031



0032

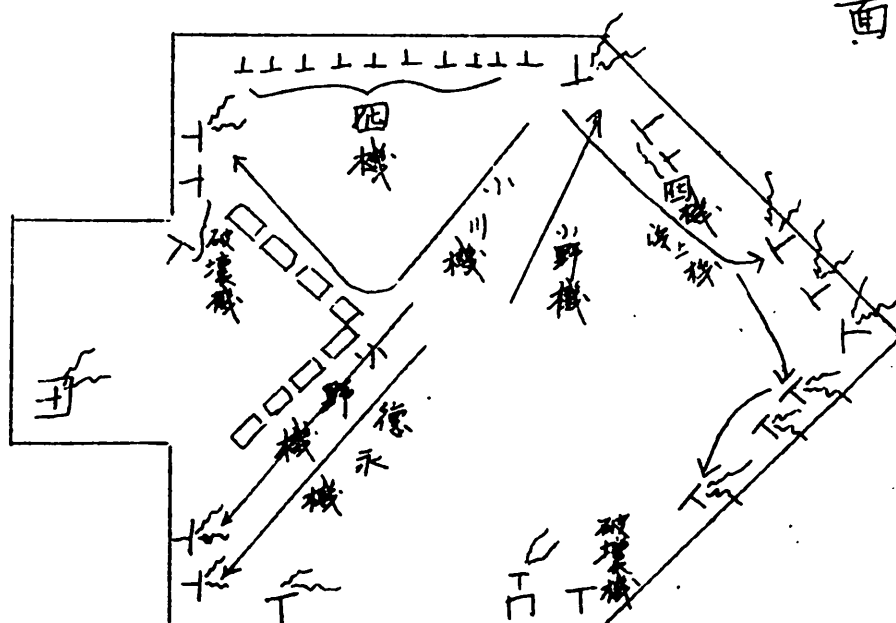
機番一 之 平	機番二 之 平	機番三 之 平	機番四 之 平	機番五 之 平
N16X1 N15X2 CBX1	CBX2 N16X1	四機 E16X1	敵重爆ニ対シ銃撃ヲ行ヒシニ四機ナルヲ発見引起 シタル時飛行中ノ敵機ヲ見追撃セシモ 及バズ總飛行機ニ引揚シテ令レ取途ニ就ク	敵重爆ニ対シ銃撃ヲ行ヒシニ四機ナルヲ発見引起 シタル時飛行中ノ敵機ヲ見追撃セシモ 及バズ總飛行機ニ引揚シテ令レ取途ニ就ク
N16X1 N15X2 CBX1 及バズ着陸機ヲ監視シ全機ヲ引上グルヲ認メ取途ニ就ク	CBX2 N16X1 及銃撃中 F16X1ヲ認メタルモ追撃セズ	四機 E16X1 敵重爆ニ対シ銃撃ヲ行ヒシニ四機ナルヲ発見引起 シタル時飛行中ノ敵機ヲ見追撃セシモ 及バズ總飛行機ニ引揚シテ令レ取途ニ就ク	敵重爆ニ対シ銃撃ヲ行ヒシニ四機ナルヲ発見引起 シタル時飛行中ノ敵機ヲ見追撃セシモ 及バズ總飛行機ニ引揚シテ令レ取途ニ就ク	敵重爆ニ対シ銃撃ヲ行ヒシニ四機ナルヲ発見引起 シタル時飛行中ノ敵機ヲ見追撃セシモ 及バズ總飛行機ニ引揚シテ令レ取途ニ就ク
500発 旋回銃	1000発 旋回銃	400発 固定銃	400発 固定銃	射撃彈數 敵損害
N15X1 N16X1	7 シ	+	+	

(四)
銃撃ヲ經過
指揮官機ヲ除キ艦爆全機(300機欠)爆撃ヲ終ヘタル機ヲ地上ノ敵
機ニ對シ銃撃ヲ行フ
指揮官機(三四機)松本少佐吉田空曹長ハ爆撃時浮込装
置開キタル為直ニ取途ニ就キ銃撃ヲ行ハズ
銃撃ノ状況左ノ如シ

0033

[illegible]

銃撃及焼却火火上面



0037

四. 成果

(一) 空中戦闘

戦機ヲ以テ N15

爆撃機ヲ以テ

(二) 爆撃

旧飛行場

新飛行場

(三)

銃撃ニヨリ火炎上

戦機 N15

重爆撃機 CB

燃料車ニ台

偵察機

旧飛行場東端ニ在ル十二機(大小混同)ハ全部回収ナリ

北西隅兵舎群ニ
飛行場内ニ
飛行機一有
格納庫兵舎ニ爆撃
飛行場内ニ
六〇 科 一五
六〇 科 一五
六〇 科 一五
六〇 科 一五
計四
九
計八機(内稍不確実三)

及焼却機其他
N16 三 九 二 ホカハート 一
計一三機

銃撃ヲ戦覆炎上
二個ヲ鹵獲

偵察機

奇襲ヲ加ヘタルモ空中戦中約七機ノ戦機遁走セリ

0038

(ハ) 新飛行場

地上飛行機ハ一機残カス大地上セシメタリ
格納庫前ニ二〇乃至二五〇程度ノ爆弾約一〇個宛敷
ケ所ニ推積計約百個ヲ認ム
格納庫ノ屋根ハ破壊ナレ居ルモ庫内ノ被害ハ僅少ナリ庫内ニ
破壊機一ラ認ム飛行場内ニ破壊機三北側周縁ニ四
機十数機アリ、飛行場ハ北東ヲ南西ニ至ル踏走路一線
ノミ使用可能、其他ハ彈痕無數ニ在リ修理ノ模様
ナク赤旗立テアリ

五、被
艦戦一

(南郷大尉) 撃墜セル敵機ト空中衝突中分解墜

落戦死

艦爆一 (福永一空曹 高野三空曹) 敵ト戦ト空中戦ヲナ

シ其ノ後消息不明

艦爆一 敵ノ地上砲火ヲ燃料系統ニ数弾ヲ蒙リ不時

着火飛行機沈没

艦戦一 被弾機銃弾四

0039

六、所見

(一) 奇襲を以テ敵機ヲ過半ニ撃墜シテ入レタル果敢ナル
爆撃機銃撃ヲヨリ何等ノ術ナク啞然タル間隙ニ集ジ
敵機ヲ掩護下ニ豪膽ニ敵中着陸ヲ敢行所在飛行機ヲ全
部焼却シ偉大ナル成果ヲ得タルモノニ各員ノ以心傳心ノ連撃
ト旺盛ナル攻撃精神ノ發露ニテ不斷訓練ノ賜ナリ
(二) 今回空襲ニ鑑ミ飛行場各要所ニハ高角機銃ヲ備フルノ
要アリ

(三) 現用ニ當リ陸用爆彈ハ飛行機ニ對シテハ數米ヲ距テ落セ
至近彈ト雖モ效果殆ドナキカ如シ

(四) 戦斗機ニ機ヲ進發セシモ夜間ノ出發ノ爲一機ハ合同シ得ズ一機ハ
空襲ノ初頭ニ於テ衝突墜落シ僅ニ四機ニテ敵十數機ト交戦
シ約七ノハ機ハ無傷ニテ適宜セシメタル隊員狀ニ鑑ミ味方戦斗
機ハ差支ナキ限り或ル可ク多數ヲ参加セシメ會敵ノ場合打漏
ストナキ様計画スルノ要アリト認ム

七、功績

本攻撃ハ戦斗機、爆撃機、攻撃機、各種機(十五座ノ大部)ヲ撃
テ空襲ヲ第一回空襲ナリシモ戦斗機、爆撃機、攻撃機ノ

攻撃ノ連撃ヲ實ニ見事ニ実施セラレ全ク敵ノ虚ヲ衝キ戦機ヲ
 察知シ各隊員ハ戦果ノ擴大ニ努メテ遂ニ敵飛行場着陸シテ
 敵機ヲ焚燬シ彈倉ヲ鹵獲シ豪膽果敢ナル徹底的攻撃手
 ラ實施シ所在全敵ヲ撃滅シタル効果ハ拔群ニシテ我武威ヲ
 中外ニ宣揚シタルモノト認ム

感 状

第十五航空隊

昭和十三年七月十八日未明其ノ主力ヲ以テ南昌敵空軍根據地ヲ
 攻撃シ猛烈ナル空中戦ニ依リ敵機九機ヲ撃墜シタル後
 地上ノ敵機ニ對シ果敢ニ銃爆撃ヲ加エ其ノ七機ヲ炎上セシメ
 遺骸ナク敵ヲ制圧シタル機一機ヲ一部爆撃機ヲ以テ敵飛行場
 ニ着陸ヲ敢行沈着剛膽飛行場ヲ隈ナク偵察シ残存敵機
 五機ヲ焼却シテ所在敵機ヲ潰滅シタルハ武勇拔群ナリ
 仍テ茲ニ感状ヲ授與ス

昭和十三年

七月二十日

支那方面總司令長官 及川古志郎

0041